

IV 第49回市政に関する世論調査の結果

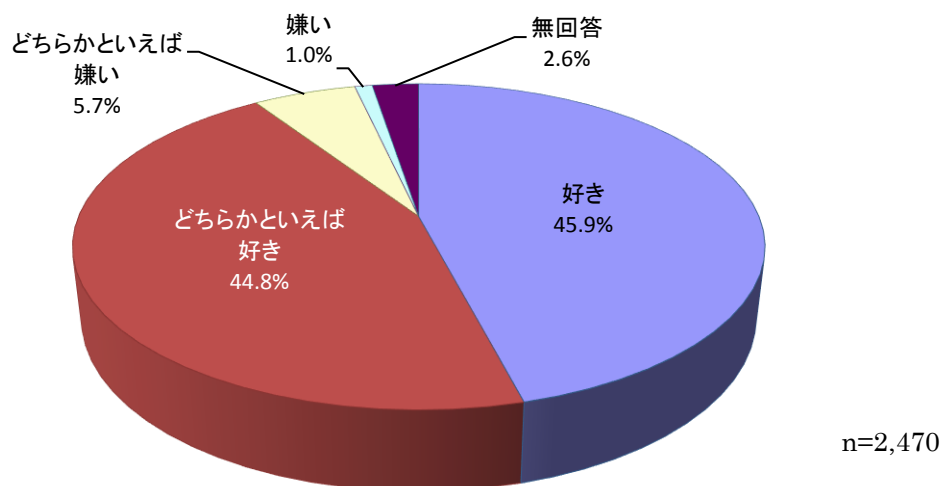
1. 宇都宮市に対する感じ方について

(1) 宇都宮市の好き・嫌い

◇ 「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた【好き（計）】が約9割

問1	宇都宮市を好きですか、それとも嫌いですか。	(○は1つ)
		n=2,470
1	好き	45.9%
2	どちらかといえば好き	44.8%
3	どちらかといえば嫌い	5.7%
4	嫌い	1.0%
	(無回答)	2.6%

<図IV-1-1>全体



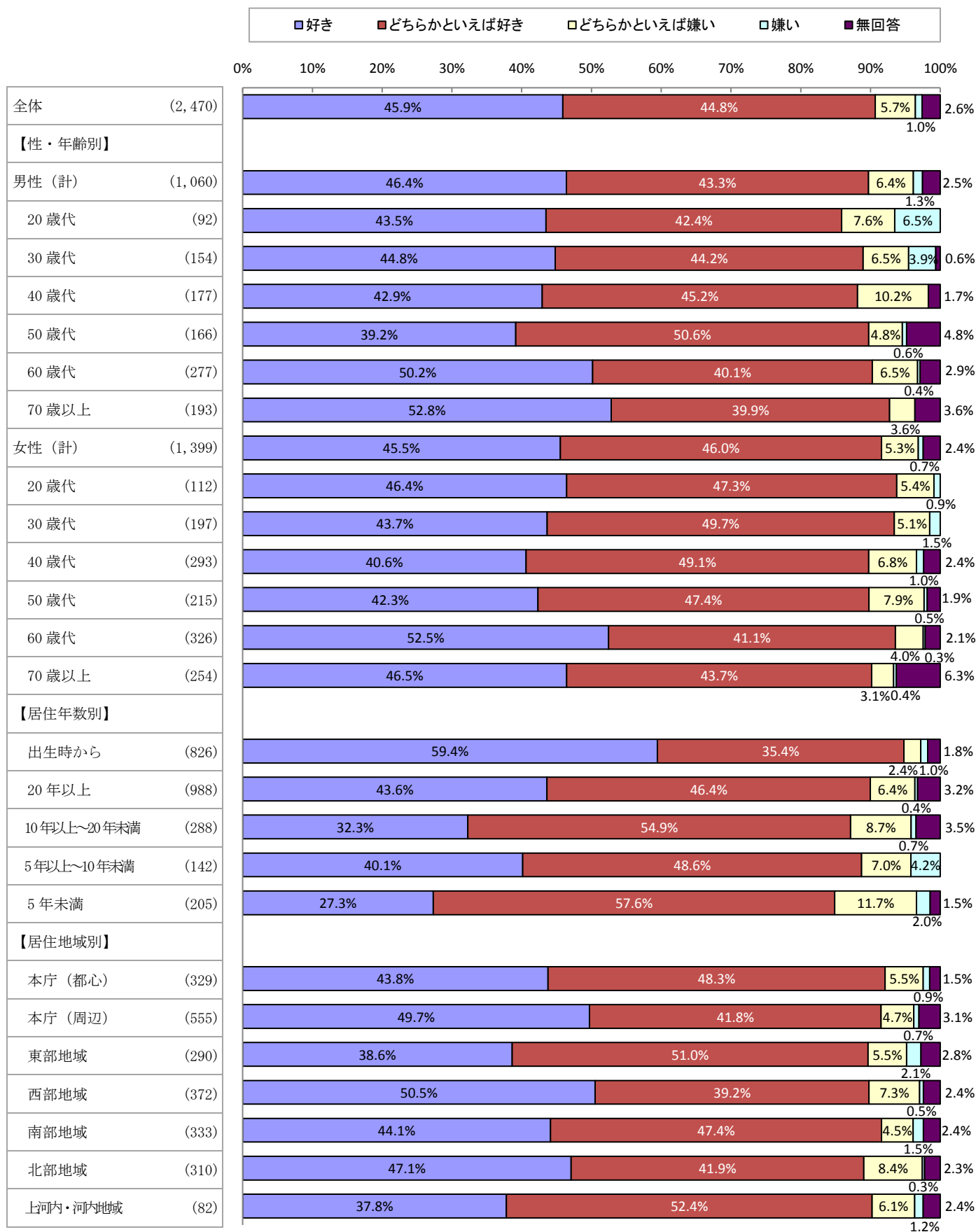
宇都宮市を好きか、嫌いか聞いたところ、「好き」が45.9%、「どちらかといえば好き」が44.8%で、これらを合わせた【好き（計）】が90.7%であった。一方、「どちらかといえば嫌い」が5.7%、「嫌い」が1.0%で、これらを合わせた【嫌い（計）】は6.7%と1割に満たない。(図IV-1-1)

性・年齢別で見ると、【好き（計）】は、<女性/20歳代>が93.7%と最も高く、次いで<女性/60歳代>が93.6%であった。【好き（計）】は、性別・年齢別に関係なく8割を超えている。一方、【嫌い（計）】は、<男性/20歳代>が14.1%と最も高く、<男性/30歳代>の10.4%、<男性/40歳代>の10.2%と続いている。(図IV-1-2)

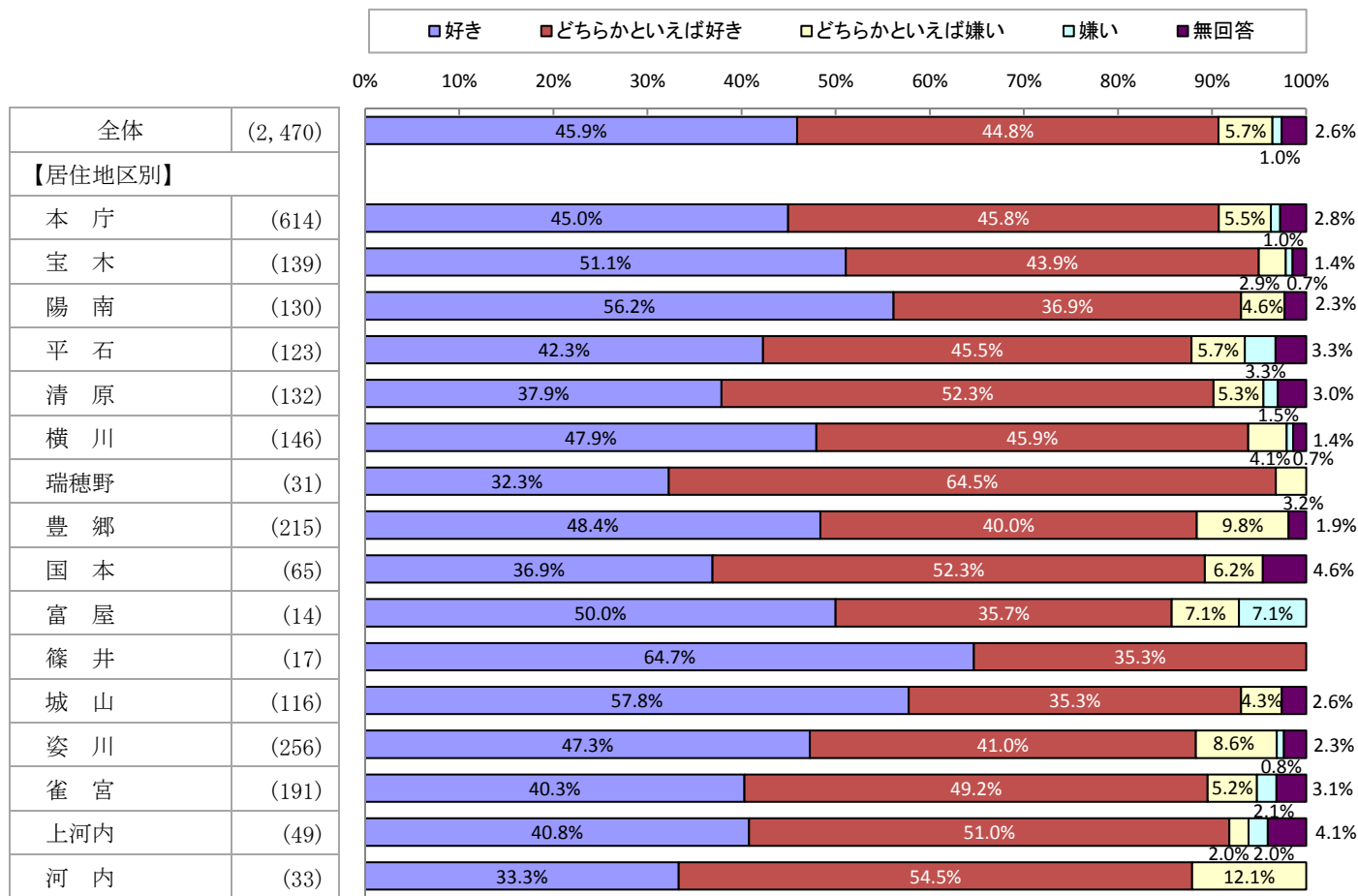
居住年数別で見ると、【好き（計）】は、<出生時から>が94.8%と最も高く、次いで<20年以上>が90.0%であった。一方、【嫌い（計）】は、<5年未満>が13.7%と最も高く、次いで<5年以上～10年未満>が11.2%であった。(図IV-1-2)

居住地域別で見ると、【好き（計）】は、<本庁（都心）>が92.1%と最も高く、次いで<南部地域>が91.5%であった。一方、【嫌い（計）】は、<北部地域>が8.7%と最も高く、次いで<西部地域>が7.8%であった。(図IV-1-2)

<図IV-1-2>性・年齢別/居住年数別/居住地域別



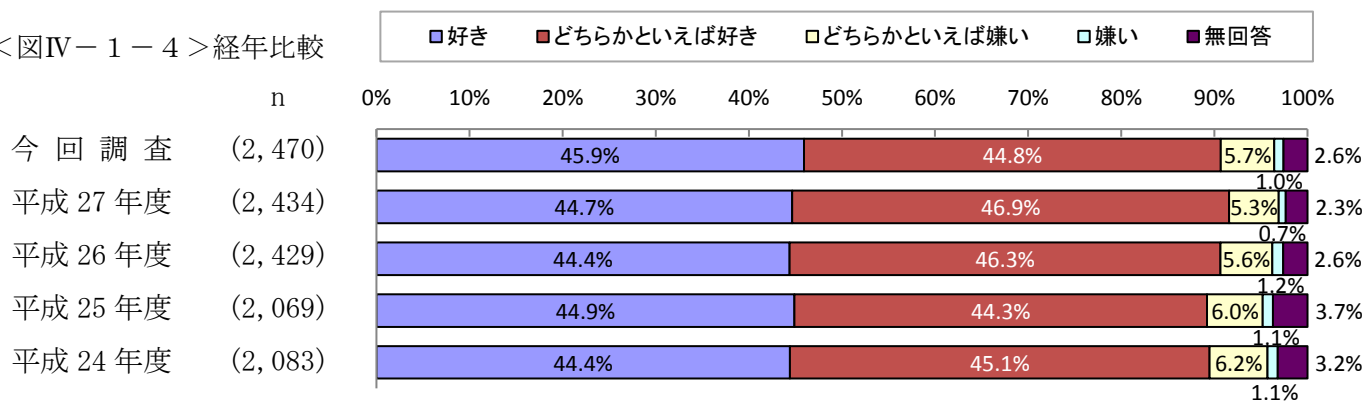
<図IV-1-3>居住地区別



【経年比較】

選択項目	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば嫌い	嫌い	無回答
平成28年度	45.9%	44.8%	5.7%	1.0%	2.6%
平成27年度	44.7%	46.9%	5.3%	0.7%	2.3%
平成26年度	44.4%	46.3%	5.6%	1.2%	2.6%
平成25年度	44.9%	44.3%	6.0%	1.1%	3.7%
平成24年度	44.4%	45.1%	6.2%	1.1%	3.2%

<図IV-1-4>経年比較



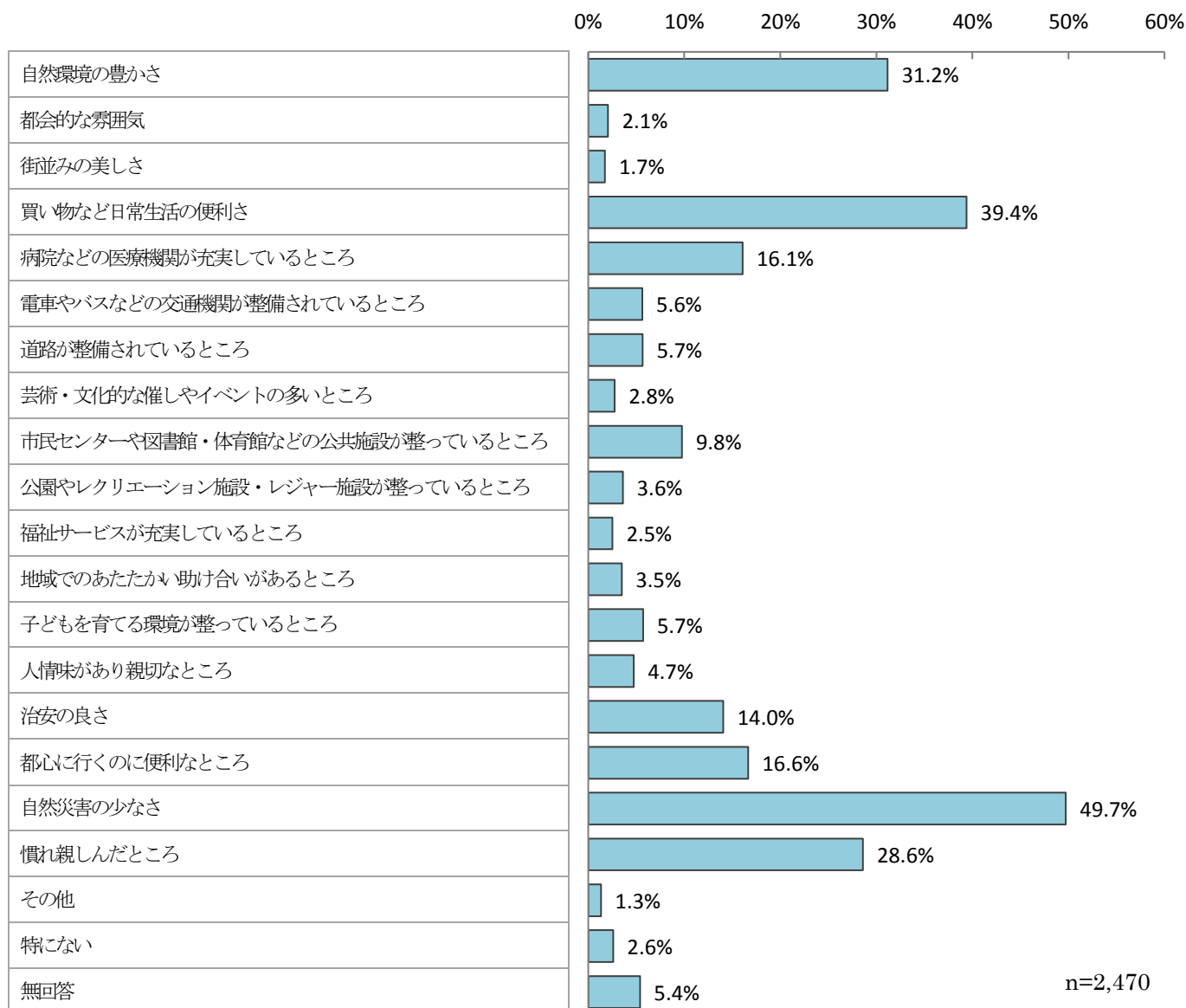
【好き（計）】及び【嫌い（計）】については、過去4年間と比較しても、特に大きな違いは見られない。（図IV-1-4）

(2) 好きな理由

◇ 「自然災害の少なさ」が約5割

問2	宇都宮市の好きだと思ふところをあげてください。	(○は3つまで)
		n=2,470
1	自然環境の豊かさ	31.2%
2	都会的な雰囲気	2.1%
3	街並みの美しさ	1.7%
4	買い物など日常生活の便利さ	39.4%
5	病院などの医療機関が充実しているところ	16.1%
6	電車やバスなどの交通機関が整備されているところ	5.6%
7	道路が整備されているところ	5.7%
8	芸術・文化的な催しやイベントの多いところ	2.8%
9	市民センターや図書館・体育館などの公共施設が整っているところ	9.8%
10	公園やレクリエーション施設・レジャー施設が整っているところ	3.6%
11	福祉サービスが充実しているところ	2.5%
12	地域でのあたたかい助け合いがあるところ	3.5%
13	子どもを育てる環境が整っているところ	5.7%
14	人情味があり親切なところ	4.7%
15	治安の良さ	14.0%
16	都心に行くのに便利なところ	16.6%
17	自然災害の少なさ	49.7%
18	慣れ親しんだところ	28.6%
19	その他	1.3%
20	特にない	2.6%
	(無回答)	5.4%

<図IV-1-5>全体



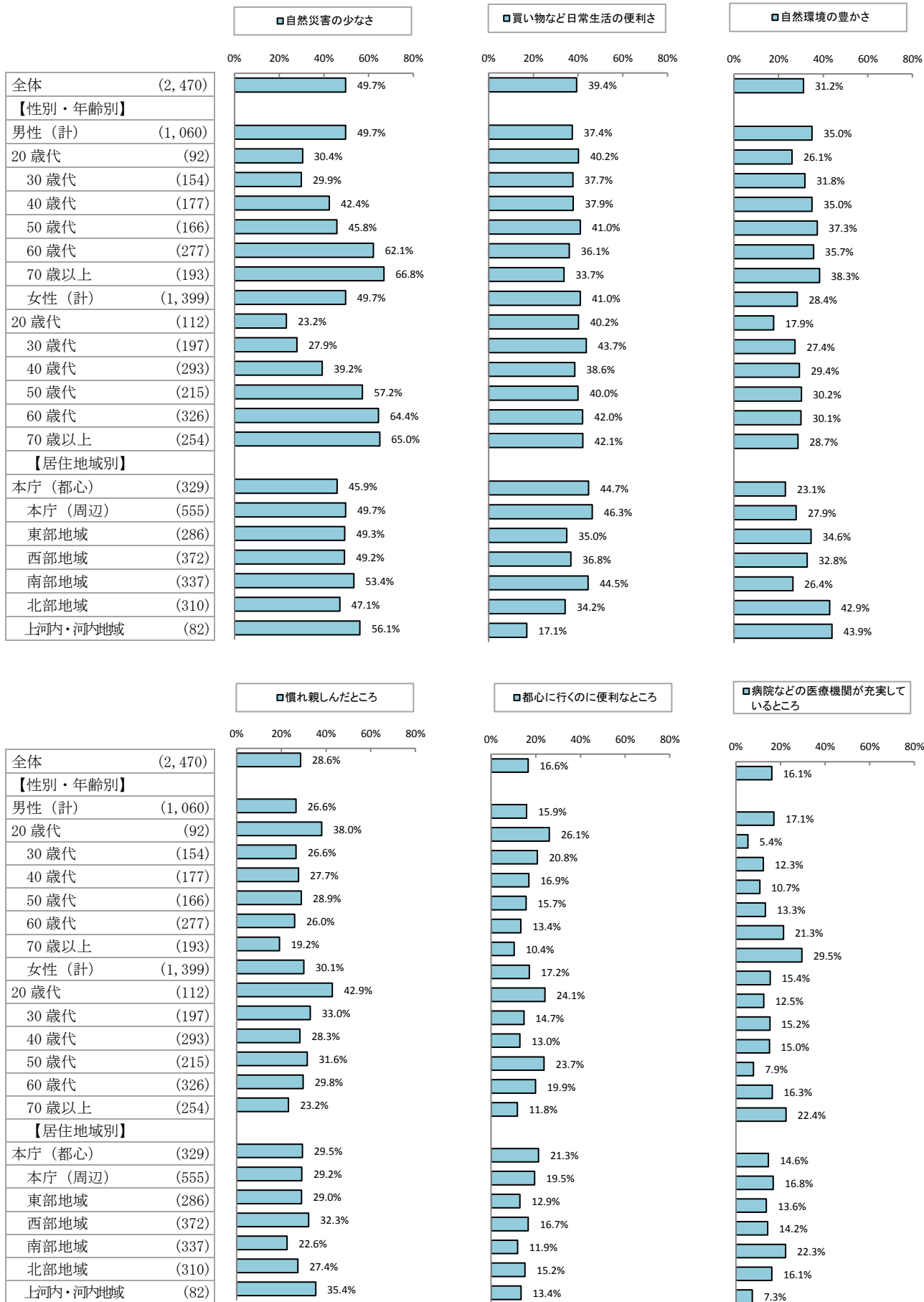
宇都宮市で好きだと思うところについて、1位が「自然災害の少なさ」で49.7%、2位「買い物など日常生活の便利さ」、3位「自然環境の豊かさ」、4位「慣れ親しんだところ」、5位「都心に行くのに便利なおところ」、6位「病院などの医療機関が充実しているところ」という順であった。(図IV-1-5)

上位6項目について性別・年齢別で見ると、「自然災害の少なさ」は<男性/70歳以上>が66.8%と最も高く、次いで<女性/70歳以上>が65.0%であった。「買い物など日常生活の便利さ」は性別・年齢別ではあまり変化が見られず、<女性/30歳代>が43.7%と最も高かった。「自然環境の豊かさ」は<男性/70歳以上>が38.3%と最も高く、「慣れ親しんだところ」は<女性/20歳代>の42.9%、「都心に行くのに便利なおところ」は<男性/20歳代>の26.1%、「病院などの医療機関が充実しているところ」は<男性/70歳以上>の29.5%が最も高かった。(図IV-1-6)

居住地域別で見ると、「自然災害の少なさ」は各地域で5割前後となっているが、<上河内・河内地域>の56.1%が最も高く、「買い物など日常生活の便利さ」は<本庁(周辺)>の46.3%、「自然環境の豊かさ」は<上河内・河内地域>の43.9%、「慣れ親しんだところ」は<上河内・河内地域>の35.4%、「都心に行くのに便利なおところ」は<本庁(都心)>の21.3%、「病院などの医療機関が充実しているところ」は<南部地域>の22.3%が最も高かった。(図IV-1-6)

その他の意見では、「都会・田舎のバランスが良い」、「アクセスの良さ(名所(日光や那須)・スポーツ(スキー・ゴルフ)・飲食店)」、「物価が安い」、「生まれ故郷」などがあつた。

<図IV-1-6>性別・年齢別/居住地域別（上位6項目）

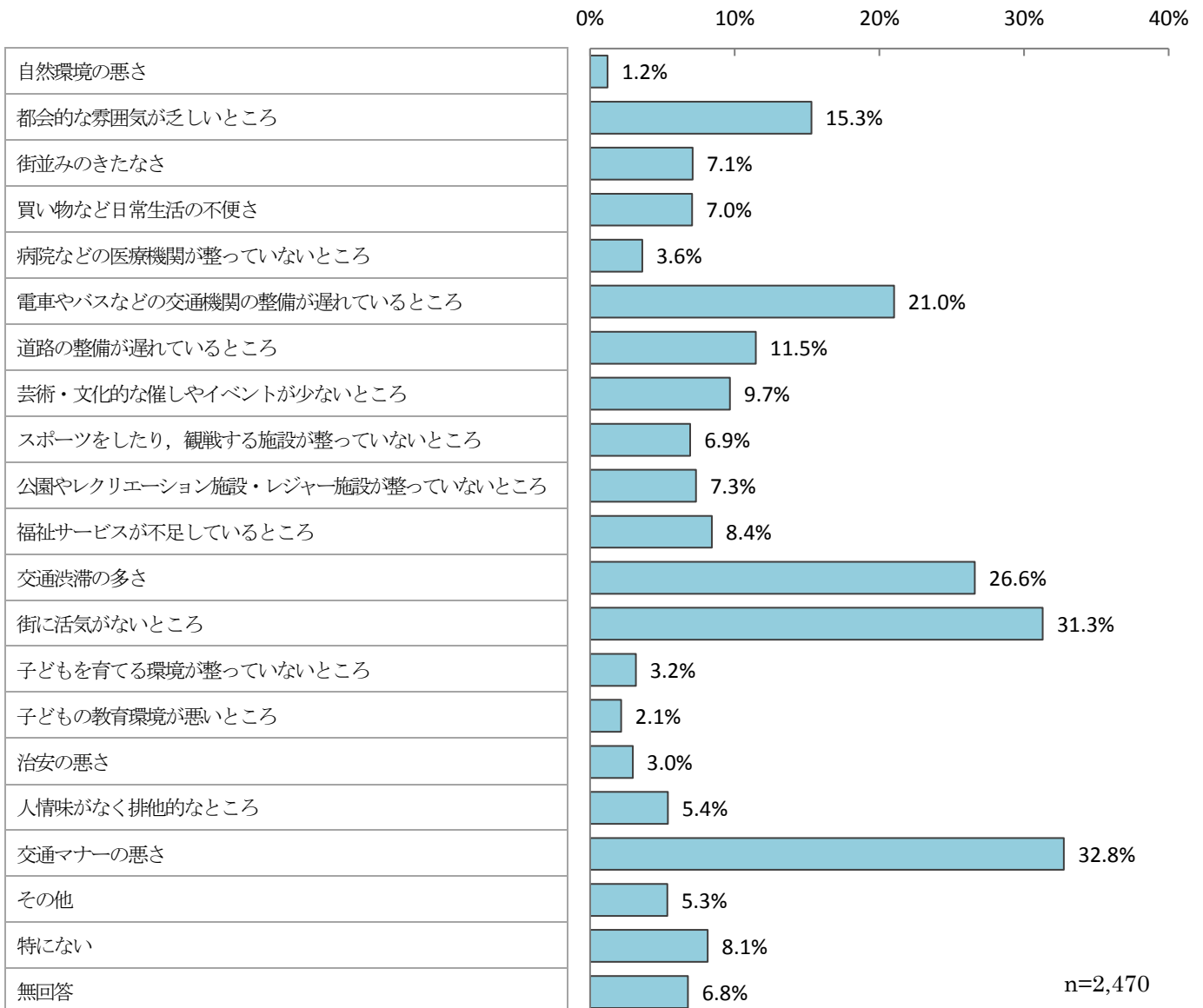


(3) 嫌いな理由

◇ 「交通マナーの悪さ」の3割強を含め、交通関係に不満が多く集まる

問3	宇都宮市の嫌いだと思うところをあげてください。	(○は3つまで)
		n=2,470
1	自然環境の悪さ	1.2%
2	都会的な雰囲気が乏しいところ	15.3%
3	街並みのきたなさ	7.1%
4	買い物など日常生活の不便さ	7.0%
5	病院などの医療機関が整っていないところ	3.6%
6	電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ	21.0%
7	道路の整備が遅れているところ	11.5%
8	芸術的・文化的な催しやイベントが少ないところ	9.7%
9	スポーツをしたり、観戦する施設が整っていないところ	6.9%
10	公園やレクリエーション施設、レジャー施設が整っていないところ	7.3%
11	福祉サービスが不足しているところ	8.4%
12	交通渋滞の多さ	26.6%
13	街に活気がないところ	31.3%
14	子どもを育てる環境が整っていないところ	3.2%
15	子どもの教育環境が悪いところ	2.1%
16	治安の悪さ	3.0%
17	人情味がなく排他的なところ	5.4%
18	交通マナーの悪さ	32.8%
19	その他	5.3%
20	特にない	8.1%
	(無回答)	6.8%

<図IV-1-7>全体



宇都宮市の嫌いだと思うところについては、1位が「交通マナーの悪さ」で32.8%、2位「街に活気がないところ」で31.3%、3位「交通渋滞の多さ」で26.6%、4位「電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ」で21.0%、5位「都会的な雰囲気が乏しいところ」で15.3%、6位「道路の整備が遅れているところ」で11.5%という順であった。（図IV-1-7）

性別・年齢別でみると、「交通マナーの悪さ」は<女性/40歳代>が39.2%と最も高く、次いで<女性/20歳代>は38.4%であった。「街に活気がないところ」は<男性/70歳以上>が39.9%と最も高く、「交通渋滞の多さ」は<男性/30歳代>の46.8%が最も高かった。「電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ」は<女性/40歳代>の33.8%が最も高かった。（図IV-1-8）

居住地域別でみると、「交通マナーの悪さ」はいずれも30%台であった。「街に活気がないところ」は<本庁（都心）>が36.2%と最も高く、「交通渋滞の多さ」は<東部地域>が33.9%と最も高かった。「電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ」は<東部地域>が32.9%であった。（図IV-1-8）

その他の意見では、「道路整備が悪い」、「施設不足」、「税金が高い・使いみち」、「行政に対する不満」などがあつた。

<図IV-1-8>性別・年齢別/居住地域別（上位6項目）

